

## 感謝

福士泰量

静かに静かに平和を告げる

久遠寺の夕暮の鐘の音が響き渡る

破れはてたる御法の服と

質朴な生活に満足する自分は

完結された今日一日の使命を

佛祖に感謝し

敬虔な祈りを捧げる

そして又明日の幸福を

佛祖に祈るのだ

微笑んだ同僚のK君の顔は

愛と尊嚴さの

佛の色相が寫つて居るぢやないか  
 さあ歸へらうよ。

## 短歌

□卒業生を送りて

八とせを學びて君よ去らるとも忘れ得まじな鷲のみ山を  
 世にいづる君よみ法につくされよやがてつづかん若き吾等も

□更夜の郊外

人たへて月さむしろの郊外をいづこに行くやチャルメラの音

□田舎の夕景

夕陽をあびて遊べるおさな兒らもろ手をあげつ汽車を送れり

石  
井  
緑  
線